

第6回 株式会社MBSラジオ番組審議会 概要

- 1 開催日 2021年10月7日(木)
- 2 場所 オンライン会議
- 3 出席者 審議委員(5人出席)

委員長	釈 徹宗
副委員長	くまざわあかね
委員	橋爪節也
委員	村木真紀
委員	輪島裕介

放送事業者(7人出席)

代表取締役社長	浜田尊弘
常務取締役	中村 理
コンテンツデザイン局長	有貞直明
プロデュースセンター長	今道 彰
番組審議会事務局長	島 修一
番組審議会事務局	服部雅子
- 4 議題 I. MBSラジオからの報告
 - 1 「ナジャ・グランディーバのレッゴーフライデー」が民間放送連盟賞ラジオ生ワイド部門で優秀受賞の報告
 - 2 「放送番組における差別・人権に関する全社会議」の報告
 - 3 MBSラジオ10月新編成に関する報告
 - 4 MBSラジオの番組種別、CM放送量に関する報告
- 5 概要 MBSラジオからの報告が4点にわたって行われた。
 - 1 今道プロデュースセンター長から、「ナジャ・グランディーバのレッゴーフライデー」が、2021年ラジオ生ワイド番組部門において、優秀を受賞したとの報告が行われた。受賞理由としては、『リスナーとの相互のリアクションを意識しながら、週末の夜にゆったりと聞けるような』工夫、『パーソナリティの魅力ある個性的なキャラクター』が

評価されたとのこと。

- 2 プランニング部から、「放送番組における差別・人権に関する全社会議」に参加したとの報告が行われた。

7月に続いての第2回となる今回は、オンラインで開催され、「部落差別」の歴史と現状について、一般社団法人山口県人権啓発センターの川口康司事務局長の講演が行われた。会議の資料を共有し、番組制作に携わるスタッフ全員に学んでもらうように指導していく。

- 3 有貞コンテンツデザイン局長から、MBSラジオの10月新編成についての報告が行われた。

今回は、改編率76.1パーセントという過去にない大規模なもので、4月に新しく生まれ変わったMBSラジオが、新たなパイオニアとして未来へ進んでいく意気込みが反映されている。主な内容としては、

- ◆組織の体制、番組の演出法のハイブリッド化
- ◆「MBSヤングタウン」が月～日の帯番組として復活
- ◆Radiotalkなどのスマホアプリとの連動企画の実施
- ◆「上泉雄一のええなあ！」早朝へ移動。新コメンテーターの採用
- ◆午前～午後帯の番組の開始時刻を正時開始に変更
- ◆15時からの生ワイド番組は日替わりでユニークな出演者を揃えた
- ◆ナイターオフゾーンには、おなじみのメンバーに加えて新しいパーソナリティも起用 などの報告が行われた。

- 4 プランニング部から、放送法の規定に基づいて、MBSラジオの番組種別、CMの放送量についての報告が行われた。

続いて報告に関しての質疑応答が行われた。番組審議委員からは、

- 番組コメンテーターの採用について
- 報道に対して、政治家の発言がきちんと実行されたのか、コロナ対策は効果があったのか、などの検証が足りないのではないか
- 新規の若いパーソナリティをMBSラジオが発掘して育ててほしい
- ネット連動企画の取り組みについて。非常に画期的な試みだが、同時に電波での放送にマイナス面の影響は出ないのか。

などと、MBSラジオとの質疑応答が行われた。

MBSラジオからは「引き続き忌憚のないご意見を聞かせていただき、今後の番組の編成・制作に大いに参考にいきたいと意見が述べられた。

以上